

本日、「全国万葉フェスティバルinしまね」が盛大に開催されますことをお祝い申し上げます。

また全国からお越しいただいた皆様を心より歓迎申し上げます。

さて、ここ石見地方は、万葉集の中でも最高傑作と言われる、柿本人麻呂と人麻呂の妻、依羅娘子との恋歌「石見相聞歌」の舞台であります。

「石見の海」「高角山」「角の甫」など、人麻呂が「石見相聞歌」で詠んだ風景は今も残っており、1300年前の万葉の時代を彷彿とさせるものであります。

今回のフェスティバルでは、この「石見相聞歌」をモチーフに、万葉トークショーやジャズコンサートなど、この機会で見なければ見ることのできない企画がたくさん用意されております。

皆様には、石見地方に息づく万葉の世界を体感いただきたいと思います。

島根県では古事記編纂1300年を契機に大型観光キャンペーン「神々の国しまね」プロジェクトを進めています。

万葉集が息づく石見地方をはじめ、現在まで連綿と受け継がれた島根の歴史文化の魅力は、他県にはない全国に誇るものです。

このプロジェクトでは、県民の皆様の参画を得ながら、こうした魅力を掘り起こし、全国に向けてPRすることとしております。

今回のフェスティバル開催に向けて地元の皆様は様々な取り組みをされました。

明日は坂本信幸先生揮毫の歌碑の除幕式がありますが、江津市民有志の皆様が中心となって建立されたものであります。

また、ボランティアガイドの皆様による心のこもったおもてなしや、先ほどのオープニングの合唱、高校の吹奏楽部におけるオリジナル曲の制作など、活発に行われており、今回の我々のプロジェクトが目指す理想的な実践例であります。

是非今後とも継続して取り組んでいただきたいと思います。

終わりにになりましたが、今回のフェスティバル開催に当たってご尽力された関係の皆様にご敬意を表しますとともに、素晴らしい2日間となることを祈念いたしまして、ご挨拶いたします。